

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年12月6日

【四半期会計期間】 第16期第1四半期(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

【会社名】 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社

【英訳名】 Agile Media Network Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 荒木 哲也

【本店の所在の場所】 東京都港区虎ノ門4丁目1番40号

【電話番号】 03-6435-7130(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部 部長 寺本 直樹

【最寄りの連絡場所】 東京都港区虎ノ門4丁目1番40号

【電話番号】 03-6435-7130(代表)

【事務連絡者氏名】 管理部 部長 寺本 直樹

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2021年12月14日付「有価証券届出書（通常方式）」にて記載しておりました調達資金の用途につき変更となったため、2022年5月16日に提出いたしました第16期第1四半期（自 2022年1月1日 至 2022年3月31日）報告書の記載事項の一部を訂正するため本訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

(訂正前)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2022年1月1日～ 2022年3月31日		2,985,180		201,750		103,730

(訂正後)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2022年1月1日～ 2022年3月31日		2,985,180		201,750		103,730

(注) 1. 2021年12月14日付「有価証券届出書（通常方式）」にて記載しておりました手取金の用途につき、下記のとおり変更が生じております。

(1)変更の理由

当社では、2021年資金調達の開示で公表しておりますとおり、GX PARTNERS CO., LIMITEDを割当先とする第三者割当増資の資金用途計187百万円を以下のとおり充当することを掲げておりました。

運転資金として80百万円

システム開発費用/開発体制の強化として50百万円

資本業務提携先への出資金、M&A資金として57百万円

このうち、の用途として80百万円を運転資金に、の用途として50百万円をアンバサダープラットフォームとLINEとの連携機能や外部システムとの連携機能の開発にすでに充当しているものの、残額57百万円はの用途としては未充当の状態となっております。

これに関して、2022年2月に発覚した当社従業員による不祥事により、一部顧客との契約解除があったことにより、売上実績が当初想定していた売上計画を下回って推移し、資金繰りの状況が悪化いたしました。これにより運転資金の需要が増大し、残額57百万円の一部を運転資金として充当しているものと認識したことから、下記のとおり、2021年資金調達の残額57百万円の支出時期及び資金用途を変更することいたしました。

【変更前】

具体的な用途	金額	支出予定時期
--------	----	--------

____ 運転資金	80百万円	2022年1月～2022年2月
____ システム開発費用/開発体制の強化	50百万円	2022年1月～2022年12月
____ 資本業務提携先への出資金、M&A資金	57百万円	2022年1月～2022年12月

【変更後】

具体的な用途	金額	支出予定時期
____ 運転資金	87百万円	2022年1月～2022年3月
____ システム開発費用/開発体制の強化	50百万円	2022年1月～2022年6月
____ 資本業務提携先への出資金、M&A資金	50百万円	2022年1月～2022年12月